

“良い図書館を良いと言う”

Library of the Year 2008

2008年11月26日（水）13:00～17:00

パシフィコ横浜 第10会場 定員340名 参加費500円

第1部 記念シンポジウム『図書館と街とランガナタン』

13:00～15:00

ファシリテーター 高山 正也 氏（国立公文書館理事）

◆図書館から始まるまちづくり

赤池 学 氏（(株)ユニバーサルデザイン総合研究所所長）

◆漂流する公共図書館、作りっぱなしでいいのか

片山 善博 氏（慶應義塾大学教授）

◆ランガナタンの故郷で考えたこと

山田 真美 氏（作家 / 日印芸術研究所言語センター長）

第2部 最終選考会

15:30～17:00

Library of the Year 2008 最終選考会を行います。

下記の4施設・サービスについてプレゼンテーションが行われたのち、当日参加するみなさまの投票による会場票と、審査員票の合計数で最優秀賞を決定します。

Library of the Year 2008

第一次選考に残った13施設・団体・サービスの中から、以下の4機関・サービスが優秀賞に選ばれ、最終選考対象になりました。今回は図書館ではない、書店・プロジェクトが選ばれたことが特徴です。

施設・団体名	プレゼンテーター	選考理由
恵庭市立図書館 (北海道)	大串夏身 (昭和女子大学教授)	2002年から始めたブックスタート事業による、「子どもが幸福になれる」街づくりを、図書館が中心となって、各世代が関わる全市民的な読書振興活動として進めている点が評価されました。
絵本カーニバル (福岡県)	村井良子 (プランニング ・ラボ代表)	広域的な巡回図書館活動と美術館等各種機関との連携を通じた幅広い活動によって、子どもや地域を育む「種」となる図書館のあり方を示している点が評価されました。
ジュンク堂池袋本店 (東京都)	柳与志夫 (国立国会図書館 電子資料課長)	調べものに利用できる十分な「蔵書」があり、本に詳しい、レファレンスサービスのできる社員を擁して、講演、展示、「想」検索参加などの企画を展開している点が評価されました。
千代田区立千代田図書館 (東京都)	竹内比呂也 (千葉大学教授)	指定管理者制度を採用して、夜10時までの開館やコンシェルジュなど都心型公共図書館の新しい姿を提案している点、地元出版界・古書店・ミュージアム等とも連携した幅広い活動を展開している点が評価されました。

Library of the Year (LoY) とは・・・

Library of the Year は、NPO法人 知的資源イニシアティブ(IRI)で、図書館コンサルティングを担当するグループ(座長:昭和女子大学教授 大串 夏身)が中心となり、図書館など全国の知的情報資源に関わる機関を対象として授与する賞で、2006年に始まりました。

選考基準は以下のとおりです。全国の公共図書館を総合的に評価して、ベストの図書館を決めるものではありません。

1. 今後の公共図書館のあり方を示唆する先進的な活動を行なっている。
2. 公立図書館に限らず、公開された図書館的活動をしている機関、団体、活動を対象とする。
3. 最近の1～3年間程度の活動を評価対象期間とする。

IRIについて

NPO法人 知的資源イニシアティブ(Intellectual Resources Initiative)の略称・通称が“IRI”です。

- ◆ IRIは、知的資源に関わる活動・組織をサポートします。
- ◆ IRIは、知的な情報資源の蓄積・提供サービスによる社会的なイノベーションを目指します。
- ◆ IRIは、知的資源を柱とした地域の活性化をバックアップします
- ◆ IRIは、知的資源の専門家集団として、「知識社会」に相応しいご提案をさせていただきます。

会場

パシフィコ横浜 会議センター(横浜市みなとみらい)

【 第10回 図書館総合展 フォーラム 第10会場 】

参加費

500円 (1部/2部通しでも、どちらか片方でも一律500円となります)

申込方法

(株)図書館流通センター (<http://www.trc.co.jp>) からお申し込みください

問合せ先

NPO法人 知的資源イニシアティブ (<http://www.iri-net.org/>)

事務局 info@iri-net.org